

日興 豪州 インカム・オープン (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第249期(決算日2024年8月19日) 第250期(決算日2024年9月18日) 第251期(決算日2024年10月18日)
第252期(決算日2024年11月18日) 第253期(決算日2024年12月18日) 第254期(決算日2025年1月20日)

作成対象期間(2024年7月19日～2025年1月20日)

第254期末(2025年1月20日)	
基準価額	3,385円
純資産総額	1,201百万円
第249期～第254期	
騰落率	△ 5.9%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興 豪州 インカム・オープン(毎月分配型)」は、2025年1月20日に第254期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、豪ドル建ての公社債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をはかることを目標として運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<752371>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

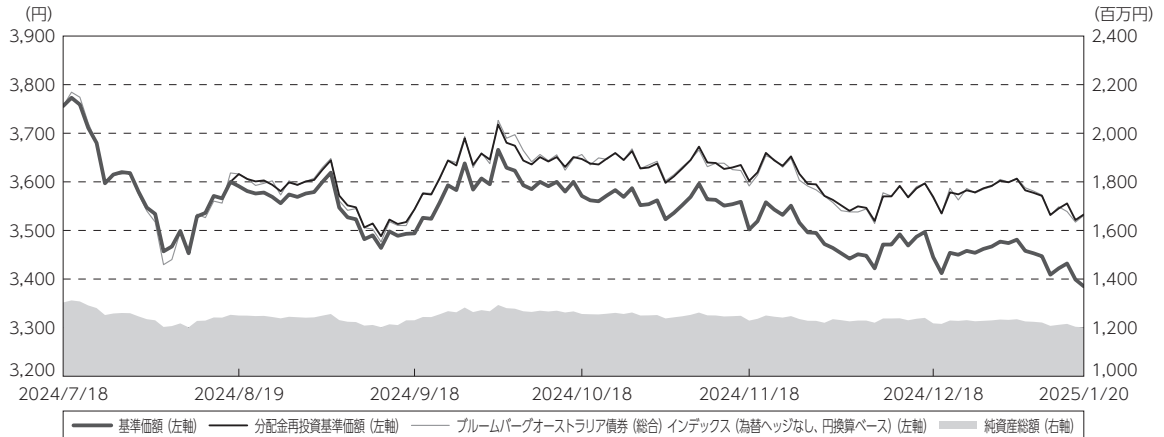
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年7月19日～2025年1月20日)



第249期首：3,756円

第254期末：3,385円 (既払分配金 (税込み) : 150円)

騰落率：△ 5.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびブルームバークオーストラリア債券 (総合) インデックス (為替ヘッジなし、円換算ベース) は、作成期首 (2024年7月18日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ブルームバークオーストラリア債券 (総合) インデックス (為替ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、豪ドル建ての公社債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をはかることを目標として運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・社債スプレッド (国債に対する上乗せ利回り) が縮小したこと。
- ・公社債利金を確保したこと。

<値下がり要因>

- ・オーストラリア国債利回りが上昇 (債券価格は下落) したこと。
- ・円高/オーストラリアドル安となったこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年7月19日～2025年1月20日)

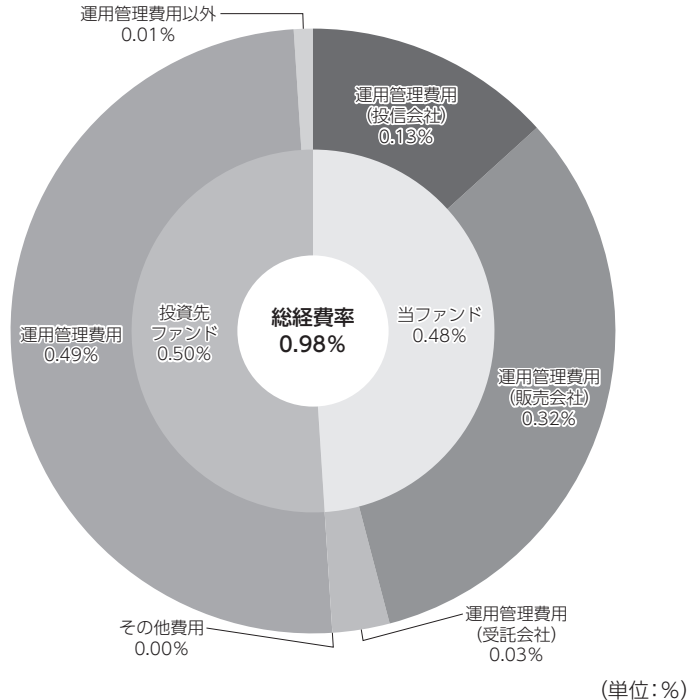
項 目	第249期～第254期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	9 円	0.247 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.067)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.163)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	9	0.249	
作成期間の平均基準価額は、3,542円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



総経費率(①+②+③)	0.98
①当ファンドの費用の比率	0.48
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

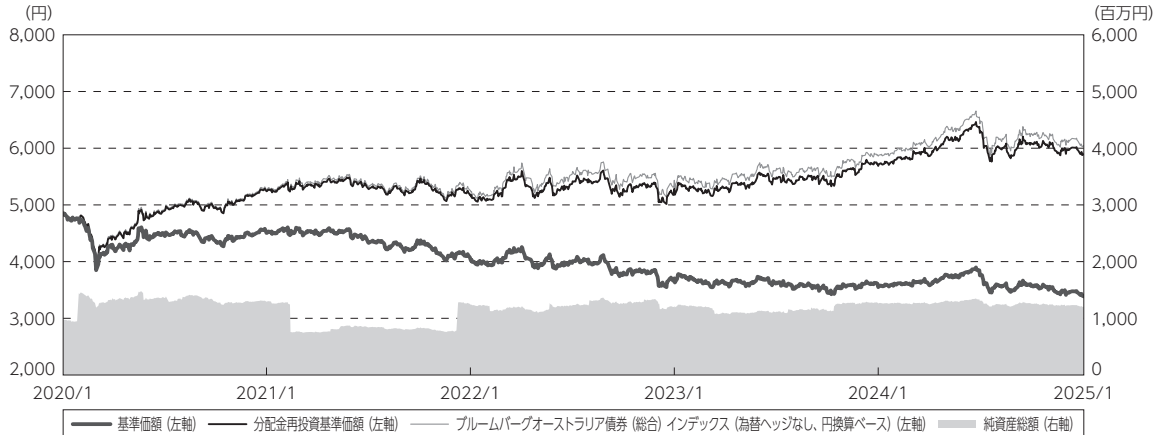
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年1月20日～2025年1月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびプルムパーゴオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ヘッジなし、円換算ベース)は、2020年1月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年1月20日 決算日	2021年1月18日 決算日	2022年1月18日 決算日	2023年1月18日 決算日	2024年1月18日 決算日	2025年1月20日 決算日
基準価額 (円)	4,853	4,504	4,043	3,705	3,549	3,385
期間分配金合計(税込み) (円)	—	665	420	420	420	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.0	△ 1.1	2.0	7.6	3.7
プルムパーゴオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ヘッジなし、円換算ベース)騰落率 (%)	—	8.5	△ 0.2	3.4	7.8	3.2
純資産総額 (百万円)	969	1,292	1,244	1,213	1,258	1,201

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) プルムパーゴオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2024年7月19日～2025年1月20日)

(オーストラリア債券市況)

期間中のオーストラリア債券市場では、利回りが上昇しました。期間の前半は、米国連邦公開市場委員会（FOMC）において2024年9月の会合で利下げを実施する可能性が示唆されたことや、軟調な米国雇用統計を受け、米国連邦準備制度理事会（FRB）が年内に大幅な利下げに踏み切るとの観測が強まったことから米国債券利回りが低下（債券価格は上昇）すると、オーストラリアの債券利回りも低下しました。期間の半ばは、オーストラリアの堅調な経済指標を受けてオーストラリア準備銀行（RBA）の年内利下げ観測が後退したため、利回りは上昇しました。また、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、経済政策の転換が財政赤字拡大やインフレ高進につながるとの見方が強まり、米国債券利回りが上昇したこともオーストラリアの債券利回りの上昇要因となりました。期間の後半は、RBAが理事会で政策金利を据え置いたものの、インフレ率が持続的に目標に戻る確信度が高まったと示唆したことから、利回りは低下しました。しかしその後は、FOMCにおいて2025年に見込むFRBの利下げ回数が従来予想から減少したことなどを背景に米国債券利回りが上昇したため、オーストラリアの債券利回りも上昇しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.08%近辺から、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において政策金利を引き上げたことなどから、0.23%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.02%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.35%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2024年7月19日～2025年1月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「フランクリン・テンプレトン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」(期間中に「マネー・インカム・マザーファンド」から変更しました) 受益証券への投資を抑制しました。

(フランクリン・テンプレトン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用))

当ファンドは、オーストラリアドル建ての国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券および資産担保証券などを主要投資対象とし、長期的に安定した利金収入が期待できるポートフォリオを維持しました。

安定した公社債利金を確保し、社債スプレッドの縮小もプラスに寄与した一方、オーストラリア国債利回りの上昇と円高/オーストラリアドル安はマイナスに影響しました。

(マネー・インカム・マザーファンド)

(マネー・マーケット・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

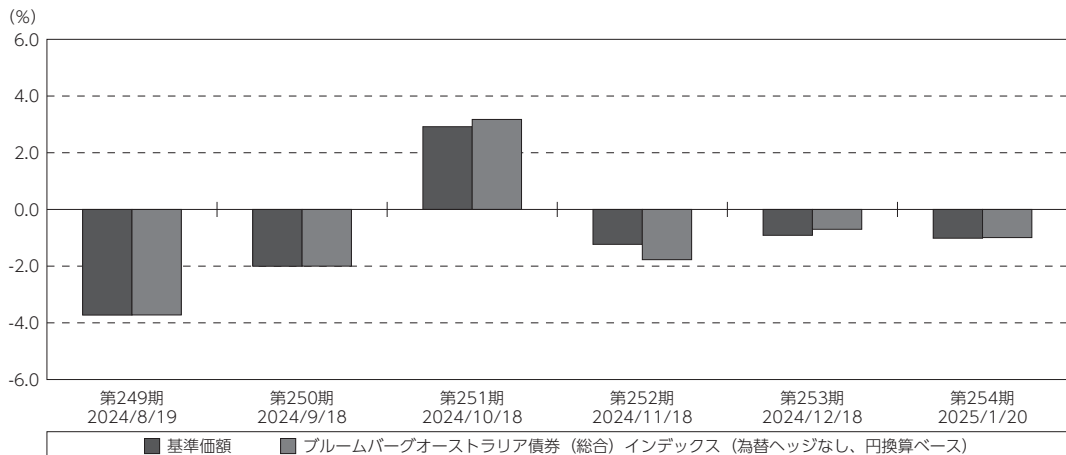
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年7月19日～2025年1月20日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) ブルームバークオーストラリア債券 (総合) インデックス (為替ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2024年7月19日～2025年1月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第249期	第250期	第251期	第252期	第253期	第254期
	2024年7月19日～ 2024年8月19日	2024年8月20日～ 2024年9月18日	2024年9月19日～ 2024年10月18日	2024年10月19日～ 2024年11月18日	2024年11月19日～ 2024年12月18日	2024年12月19日～ 2025年1月20日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.691%	0.710%	0.695%	0.709%	0.720%	0.733%
当期の収益	7	7	9	7	7	7
当期の収益以外	17	17	15	17	17	17
翌期繰越分配対象額	4,154	4,137	4,121	4,103	4,086	4,069

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「フランクリン・templton・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用)」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(フランクリン・templton・オーストラリア債券ファンド(適格機関投資家専用))

RBAは2024年12月の理事会において、9会合連続で政策金利を据え置きました。声明文では「インフレが持続的に目標に向かって減速していると確信するまでの間は、金融政策は十分抑制的である必要がある」との文言が削除されました。また、RBAが彼らの見通しに沿ってインフレ圧力が低下していることに一定の自信を抱き始めていると示唆したことから、市場ではRBAの政策スタンスがハト派(金融緩和的な政策を支持)にシフトしていると受け止められました。

市場動向を睨みながらデュレーション(利回りが変動した場合の債券価格変動性)を調整する方針です。資産配分については、金融債、リート・セクターなどを中心とした社債を引き続き厚めとし、スプレッドの動きに着目したポートフォリオを維持する方針です。金融債については、大手金融機関が発行する流動性・信用力が相対的に高い債券などを組入れの中心とします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・マーケット・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2024年7月19日から2025年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、マネーマザーファンドを活用して余資運用を行なっておりますが、当該マネーマザーファンドにて有価証券運用を可能とするため、投資対象とする投資信託証券に「マネー・マーケット・マザーファンド」を追加するべく、2024年10月19日付で信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第20条)

東京証券取引所における取引終了時間が「午後3時」から「午後3時30分」に延伸されたことに伴ない、弊社が設定する証券投資信託の申込締切時間も同様に30分延伸することを原則とします。その例外として、当ファンドにおいては、適切な資産評価と事務処理を実施するため、申込締切時間を「午後3時」のままとすることを規定すべく、2024年11月5日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(第12条、第36条、第39条)

その他の変更について

上記マネーマザーファンドの入れ替え対応として、2025年4月19日付けにて投資対象とする投資信託証券から「マネー・インカム・マザーファンド」を削除いたします。

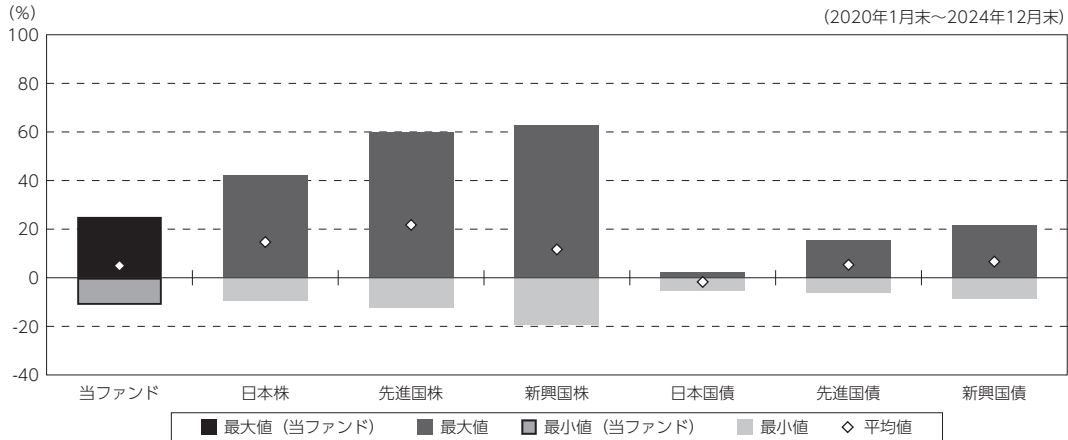
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2003年9月30日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「フランクリン・テンプレトン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）」受益証券 「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、豪ドル建ての公社債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をはかることを目標として運用を行ないます。豪ドル建公社債の相対的に高い金利を直接享受することをめざすため、為替ヘッジは行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.0	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 11.1	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.0	14.7	21.7	11.7	△ 1.7	5.3	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年1月から2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ブルームバーグオーストラリア債券 (総合) インデックス (為替ヘッジなし、円換算ベース)

「ブルームバーグオーストラリア債券 (総合) インデックス (為替ヘッジなし、円換算ベース)」とは、オーストラリアの債券市場のパフォーマンスを測定するために構築されたインデックスを円ベースに換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年1月20日現在)

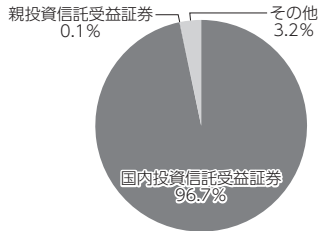
○組入上位ファンド

銘柄名	第254期末
	%
フランクリン・テンプレートン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	96.7
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

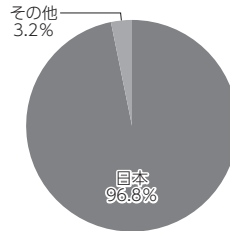
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

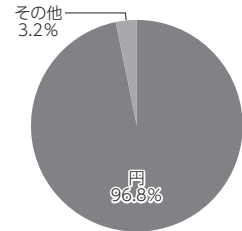
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第249期末	第250期末	第251期末	第252期末	第253期末	第254期末
	2024年8月19日	2024年9月18日	2024年10月18日	2024年11月18日	2024年12月18日	2025年1月20日
純資産総額	1,249,744,882円	1,230,357,360円	1,256,206,807円	1,228,999,476円	1,217,704,485円	1,201,318,485円
受益権総口数	3,480,579,678口	3,521,232,684口	3,518,264,389口	3,509,163,084口	3,534,590,423口	3,548,629,483口
1万口当たり基準価額	3,591円	3,494円	3,571円	3,502円	3,445円	3,385円

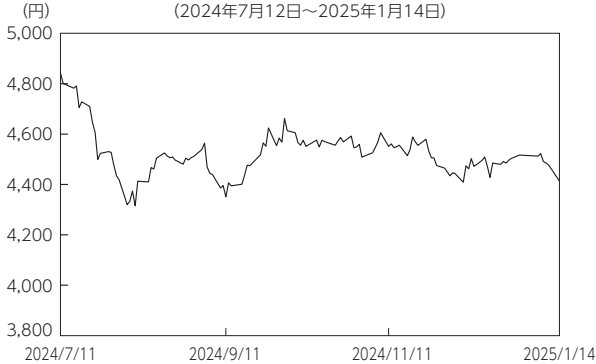
(注) 当作成期間 (第249期～第254期) 中における追加設定元本額は206,752,254円、同解約元本額は129,364,723円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・templton・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2024年7月12日~2025年1月14日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月12日~2025年1月14日)

項 目	第250期~第255期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	12	0.259
(投 信 会 社)	(5)	(0.113)
(販 売 会 社)	(6)	(0.141)
(受 託 会 社)	(0)	(0.006)
(b) そ の 他 費 用	0	0.006
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.001)
合 計	12	0.265

作成期間の平均基準価額は、4,474円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

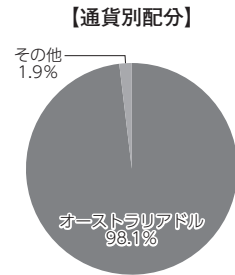
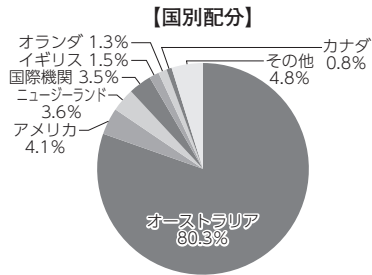
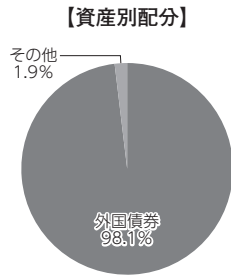
(2025年1月14日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	AUSTRALIAN GOVT 2.75% 2035/6/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
2	AUSTRALIAN GOVT 2.75% 2041/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.3
3	AUSTRALIAN GOVT 3.75% 2037/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.2
4	NEW S WALES TREASURY 2% 2031/3/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.0
5	TREASURY CORP VICTORIA 2% 2035/9/17	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.5
6	NEW S WALES TREASURY 1.75% 2034/3/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.5
7	TREASURY CORP VICTORIA 2.25% 2034/11/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.3
8	TREASURY CORP VICTORIA 2.25% 2033/9/15	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.1
9	AUSTRALIAN GOVT 3.5% 2034/12/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.0
10	SUNCORP-METWAY LTD 3.25% 2026/8/24	普通社債券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.0
	組入銘柄数		283銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

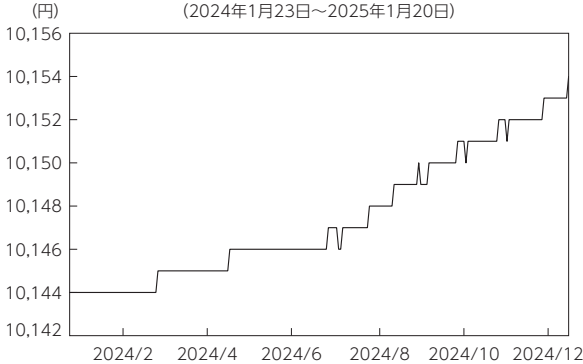
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

マネー・マーケット・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年1月23日～2025年1月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月23日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年1月20日現在)

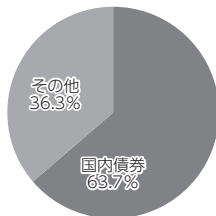
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第445回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	63.7%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

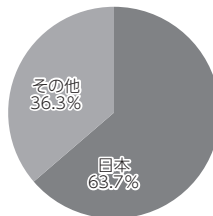
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

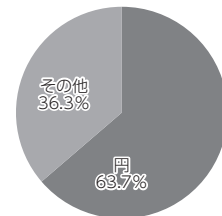
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。